

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4091600082		
法人名	(有)おはな		
事業所名	グループホーム いちょうの杜 諏訪野		
所在地 (電話番号)	福岡県久留米市諏訪野町2170-19 (電話) 0942-46-4777		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成20年2月7日	評価確定日	平成20年3月19日

【情報提供票より】(H20年1月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤13人, 非常勤1人, 常勤換算	13.3 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <u>単独</u> / <u>新築</u> / 改築		
建物構造	防火木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,300 円	その他の経費(月額)	水道光熱費300円/日	
敷金	有 (円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> (100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	<u>有</u> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要 (1月23日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.5 歳	最低	67 歳	最高	88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	齋藤医院 さくら歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「受容・傾聴・共感」の理念を掲げ、自分の家族にしてあげたいことを行い、させたくないことは行なわないというモットーのもと、職員一丸となって取り組んでいる。戦中戦後を苦労してこられた高齢者に対し、人生の最終章を幸せに暮らしていただくよう、ボランティア的な発想で貢献している。医療から取り残され、在宅では生活が困難な方々にも手を差し伸べ、協力医療機関の全面的な協力で看取りの介護にも積極的に関わり、重症な褥瘡の管理も効果をあげている。ドライブや外食に連れ出したり公文式学習法を取り入れたりといろいろ工夫しており、利用者は生き生きとした表情で穏やかに過ごしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回指摘のあった研修の記録はきちんとまとめ、朝礼で研修参加の呼びかけや研修後の報告などを行なっている。地域との交流不足については、自治委員を引き受け近所のごみ管理をしているなど取り組んでいる。また、年配の方の来訪もある。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員の意見を取り入れた評価をしている。評価員の調査に対しても普段どおりの対応である。普段から評価項目に対してきちんと取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度行われ、議事録もきちんと綴られている。出来事の報告や行事の案内を行い、グループホームの啓発になっている。会議で出た問題点は、その後解決されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>月に1度、写真入りの便りを作成し、領収書等とともに郵送している。直接職員に意見を言ってくる家族が多く、話しやすい雰囲気づくりをし、話す機会を設け対応している。意見箱を設置していたが、利用がなく撤去されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治委員を引き受け、近所のごみ管理をしたり積極的に地域と関わっている。年配の方の来訪は時々あるが、周囲にワンルームマンションが多いため若者が多く、その方々との交流は困難である。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「受容、傾聴、共感」の理念を掲げ、利用者本位の支援がなされている。久留米市内への外出をしばしば行い、利用者は久留米にいてることを実感しながら暮らすことが出来ている。家族の来訪も頻回にあり、家庭の生活に近い環境づくりが出来ている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は目に付くところに掲げられ、職員はその言葉の重みを理解し、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治委員を担い、積極的な地域活動への参加が見られる。地域の行事への参加は少ないが、ホーム行事への参加は毎回呼びかけ、地元の人々も参加されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の項目は管理者が全員の意見を聞き記入している。調査日は普段どおりの対応で、日ごろからきちんと取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開き、民生委員、包括職員、家族との話し合いがなされ、そこで出た意見は議事録にまとめ解決に向け取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月に1度市からの相談員の来訪がある。運営推進会議の議事録や更新申請を市に提出するときは市職員に相談し、連携を深めている。またホームで行うパリテーションの研修に市職員が参加するなど積極的な市との連携が出来ている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に成年後見人制度を利用されている入居者があり、管理者は十分な学習が出来ているが職員全員が把握しているわけではない。		全員が成年後見人制度について学習を深め、またパンフレット等を備えるなどの取り組みに期待する。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、便りと金銭出納の報告を家族に郵送している。年間行事の中で家族を招待する機会が数回あり、職員と家族との交流、会話も出来ている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱は利用がないため撤去しているが直接意見を言われる家族が多く、職員も話しやすい環境づくりをしている。入居の際には苦情の申立先を提示し、苦情についてのポスターをホーム内に貼っている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職に対しての利用者の不安はほとんどない。職員は担当制で利用者を見ているが担当以外の方にも平等に接している。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に対しては性別年齢の区別はなく、20歳から65歳までの職員が協力しながら勤務している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	市の人権学習に参加したり、虐待予防についての学習を重ねている。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に資格取得を勧め、職員の希望があれば協力する姿勢がある。研修や学習会に頻回に参加する機会があり、職員は自己研鑽のために積極的に参加している。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	久留米市内のグループホーム部会に加入し事務局を担うなど積極的な活動が出来ている。同系列のグループホームではあるが、お互いに情報交換している。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所や見学を受け入れたり、入所予定者の入院先に出向くなど、受け入れ前の配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者から学ぼうとする職員の真摯な姿勢があり、料理方法や洗濯の仕方、お茶やお花の作法など幅広く学んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の背景や希望を聞き、それに沿うように支援している。外出や外食も頻回に行っている。興奮した利用者につき添ったり、寄り添うなど意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者一人ひとりについて、ケアマネジャーと担当職員が協力して定期的に作成している。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは定期的、または変化のあったときに行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市から急に要望があった利用者を受け入れたり、入院中の利用者の世話をするなど、臨機応変に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある利用者はその関係を継続し、それ以外の方はグループホームの協力医にて管理している。看護師である管理者が受診につき添い、体の状態も把握している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>看取りの支援は積極的に行う姿勢を持ち、実際に関わったこともあり、現在も末期の入居者がいる。家族をはじめ職員、利用者も協力し、医師も24時間体制で応援している。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者に対し、丁寧な言葉かけを行い、一人ひとりのプライバシーを守れる体制作りをしている。書類等の管理もきちんとしており個人情報の取り扱いも慎重である。</p>		
24	54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者は自分のペースで生活し、職員はそれを見守っている。利用者の外出や外食の希望には出来るだけ沿うよう支援している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
25	56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>野菜の皮むきや配膳、茶碗引きなど利用者が出れることは手伝い、協力している。</p>		
26	59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>夜間は職員が少なく対応していないが、午前中から夕方にかけて順番で入浴がなされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除が好きな利用者によく手伝っていただいている。野菜の皮むきや洗濯物たたみが得意な方はそれを担い協力して生活している。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所のお地藏さんやおいしい鯛やきの店に買い物に行くなど頻繁に外出支援をしている。利用者が外食好きで、ファミリーレストランや回転寿司などに行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関には鍵はかけられておらず、職員も鍵をかけないことの大切さを理解している。事務所の位置がよく、全体を見回せる造りになっている。玄関のドアが開けば音楽が流れるように工夫している。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署との訓練がなされているが、救命訓練に関しては全職員が研修しているわけではない。また大災害時の避難場所についても統一された情報が無い。		人工呼吸や心臓マッサージなど機会を作って研修することをが望まれる。避難場所についても明確に周知することが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の内容は記録にまとめられ家族にも報告している。水分制限がある利用者に関しては水分量も細かく記録している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	楽しい音楽が流れ、明るさや室温も適当に調整されている。花や手作りのカレンダーが飾られ、家庭的で季節が感じられる飾り付けがなされている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はその人らしくまとめられ、好きな野球チームのカレンダーが貼られたりしている。テレビは基本的に部屋に置かないようにしているが、疾患のため食事をみんなと取れない利用者には居室のテレビを認めるなど臨機応変な対応をしている。		